

令和8年（2026年）度施策評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価者	文化観光部長 高橋 謙司
評価者	都市調整部長 古賀 久貴

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野 6-(2) 観光	施策の方針	6-(2)-②観光基盤の整備・充実
目標とするまちの姿	世界中から訪れる観光客、子どもから高齢者・障害者など、すべての来訪者が安全で快適に過ごすことができる環境が整備されています。また、自然災害等が発生した際の体制が整えられており、観光客が安心して観光できるまちとなっています。		
主な取組	(1) 観光施設の整備 様々な国籍・文化的背景を持つ人々や高齢者、障害者など、だれもが安全で快適に観光できるよう、ホスピタリティに配慮した観光施設の整備を進めます。 (2) 観光客の安全・安心の確保 災害や事件・事故など緊急事態の発生時でも観光客の安全・安心を確保できるような体制構築が図られるよう、防災・防犯・救急等と連携していきます。		

1. 前年度(評価対象年度)の当該施策の目標

文化観光部

目標とするまちの姿の実現に向けて、海岸への下水道排水設備の設置や観光案内板の改修等の観光基盤の整備・充実を図っていくとともに、観光に係る受益者負担の仕組みを構築するなど、財政負担を軽減して持続可能な観光に向けた制度設計に取り組む。

また、観光情報を提供する観光案内所や海水浴場の適切な運営を行うことで、だれもが安全で快適に観光できるよう、事業を推進する。

都市調整部

・令和6年度に実施できなかった大船駅東口ペDESTリアンデッキ公衆トイレの改修については、工事内容を見直し維持修繕を実施し、鎌倉市観光基本計画に基づき公衆トイレの改修等を進める。

2. 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	100,069	123,169	173,286	142,744	287,177	425,771
人件費	18,938	18,967	18,990	16,711	23,596	24,850
総事業費	119,007	142,136	192,276	159,455	310,773	450,621

3. 施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	文観-19	観光案内所運営事業		24,206	1,657	25,863	現状維持	A	現状維持
重	文観-20	観光施設整備事業		249,242	8,283	257,525	現状維持	A	現状維持
	文観-21	海水浴場運営事業		122,321	12,425	134,746	現状維持	A	現状維持
	都調-18	観光施設整備事業		30,002	2,485	32,487	現状維持	B	現状維持

4. 評価対象年度の主な実施内容

文化観光部

- ・ハイキングコースの安全管理のための危険木の緊急除去を行ったほか、観光案内板や観光ルート板の新設、改修等を行った。
- ・鎌倉海岸下水道排水設備(第一工区)の建設工事を完了するとともに、排水設備についての使用料条例を制定した。
- ・観光案内所の運営や、海水浴場の開設を行い、安全で快適な観光ができる環境を整えた。

※実施できなかった事業とその理由

鎌倉海岸下水道排水設備工事(第二工区・第三工区)は、第一工区の稼働状況を踏まえた上で、実施に向けた検討を行うこととした。海岸整地については、砂の移動が少なく、海水浴場開設期間中に実施する必要がなかった。

都市調整部

- ・令和6年度に実施できなかった大船駅東口ペDESTリアンデッキ公衆トイレの改築については、工事内容を見直し改修を実施した。
- ・市内各所公衆トイレの維持管理を行った。

※実施できなかった事業とその理由

・大船駅東口ペDESTリアンデッキ公衆トイレの改修に当たっては、スケジュールも見直すこととなり、洋式化については、令和8年度に実施することとした。

5. 成果指標

成果指標①		公衆トイレのバリアフリー化率						出典	所管課調べ	
	令和元年 12月19日	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
初期値	61.7	目標値	61.7	61.7	64.7	64.7	67.6	67.6	%	23/35
		実績値	61.7	61.7	61.7	63.6	65.7	65.7		
		達成率	100.0%	100.0%	95.4%	98.3%	97.2%	97.2%	%	

成果指標②		観光案内看板の多言語対応率						出典	所管課調べ	
	令和元年 12月19日	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
初期値	97.0	目標値	97.0	97.6	98.5	99.5	100.0	100.0	%	206/208
		実績値	97.6	97.6	98.0	98.0	98.6	99.0		
		達成率	100.6%	100.0%	99.5%	98.5%	98.6%	99.0%	%	

6. 「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

文化観光部

世界中から訪れる観光客、子どもから高齢者・障害者など、すべての来訪者が安全で快適に過ごすことができる受入環境の維持、整備のため、公衆トイレのバリアフリー設備の維持や観光案内看板の多言語化の促進をした。

公衆トイレのバリアフリー化率については、令和7年度は公衆トイレの新設や改修を行っていないことから、昨年度同様の達成率となった。また、観光案内看板の多言語対応率については、名所掲示板の改修時の多言語化(青蓮寺)をしたことにより、実績値及び達成率が上昇した。

7. 主な実施内容と施策の達成状況の分析を踏まえた評価

※主な実施内容と目標とするまちの姿の関係(達成状況とその理由)

「施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果」における貢献度の分析

文化観光部

公衆トイレのバリアフリー化や観光案内板の多言語化は、すべての来訪者が安全で快適に過ごすことができる環境が整備されているという目標とするまちの姿を実現させるための構成要素の一つであり、目標は達成されていないものの、進展はしている。

観光案内所の運営による直接的な観光客への観光情報の提供や、公衆トイレや観光案内板等の施設の維持、整備を行うことで、観光客の利便性の向上及び観光客の受け入れ体制の強化に資することができたと捉えている。

また海水浴場の運営を行うことにより、夏の海岸利用者の安全対策、風紀維持や海岸美化に資することができたと捉えている。

都市調整部

大船駅東口ペデストリアンデッキ公衆トイレ改修をはじめ、市内各所公衆トイレの故障等に対応するための修繕を行い、すべての来訪者が安全で快適に過ごすことができる環境の整備に貢献した。観光客の利便性が向上したことにより、観光振興にも寄与した。

8. 今後の方向性

文化観光部

鎌倉ミライ共創プラン2030 該当施策	3-11 観光
誰もが「住んでよかった・訪れてよかった」と思える成熟した観光都市の実現に向け、海岸への下水道排水設備の設置、公衆トイレの整備や観光案内板の改修等の観光基盤の整備・充実を図っていく。また、持続可能な観光の仕組みの構築に向け、観光に係る受益者負担の仕組みを構築するなど、財政負担の軽減につながる制度の検討にも取り組む。 引き続き、観光情報を提供する観光案内所や海水浴場の適切な運営を行うことで、だれもが安全で快適に観光できる取り組みを行っていく。	

都市調整部

鎌倉ミライ共創プラン2030 該当施策	3-11 観光
・鎌倉市観光基本計画に基づき、大船駅東口公衆トイレの洋式化修繕及び稲瀬川公衆トイレの改修工事設計業務委託を進める。 ・市内各所公衆トイレの維持管理を行う。	